



**DOWA**

第120期 報告書

株主のみなさまへ

**BUSINESS REPORT**  
**2023 / 6 / Vol.65**

証券コード:5714



## 2022年度 (2023年3月期) 連結経営成績 について

代表取締役社長 関口 明

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2022年度(2023年3月期)における当社グループの事業の状況と経営成績をご報告申し上げます。

世界的な半導体不足の影響が続き、自動車の生産が低調であったことから、一部の自動車関連製品及びサービスの需要は調整局面が継続しました。情報通信関連製品は中国経済の停滞により販売が減少しました。また、新エネルギー関連製品は汎用化が進んだことによる競争環境の変化により、低調な販売となりました。環境・リサイクル関連サービスは廃棄物処理の受注が堅調でした。相場環境につきましては、前期と比較して平均為替レートは大幅な円安ドル高となりましたが、銅、銀及びPGM(白金族金属)の平均価格は下落しました。一方で、世界的なエネルギー価格の高騰や資材価格の上昇を受け、電力代、燃料費及び副資材費等のコストが大幅に増加しました。

これらの結果、当期の売上高は7,800億円、営業利益は446億円、経常利益は555億円、親会社株主に帰属する当期純利益は250億円となりました。

当期の年間配当につきましては、今後の成長投資の計画、期末の財務状態等を踏まえた上で、当期の業績が過去2番目の水準となったことから、1株当たり105円の普通配当(前期より5円増配)に加えて、1株当たり25円の特別配当を実施することとし、合計130円としました。

当社グループでは、今後も企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

## 財務ハイライト

## 2022年度

売上高

7,800 億円

(前期比6.2%減)

営業利益

446 億円

(前期比30.1%減)

経常利益

555 億円

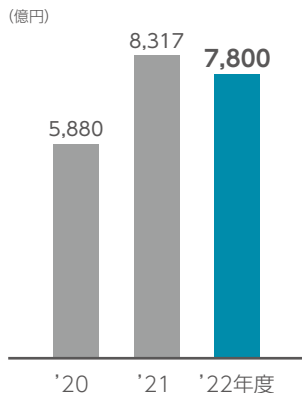
(前期比27.0%減)

親会社株主に帰属する当期純利益

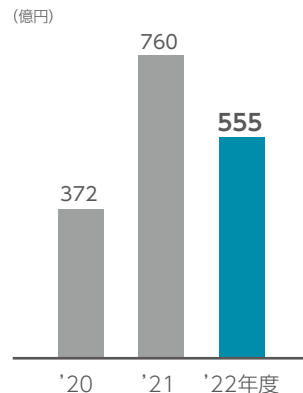
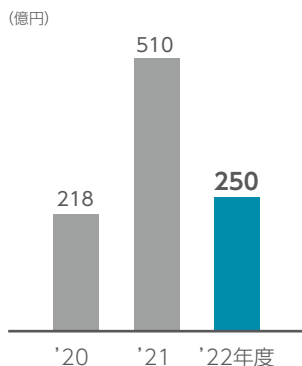
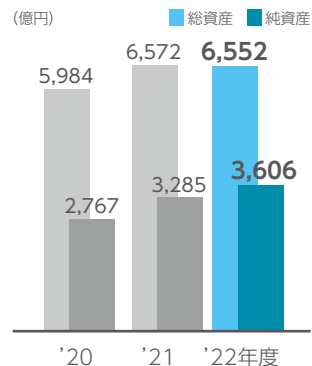
250 億円

(前期比50.9%減)

## 売上高の推移



## 経常利益の推移

親会社株主に帰属する  
当期純利益の推移総資産および  
純資産の推移

## ■ 使用済みリチウムイオン電池リサイクル事業

DOWAグループは、電化製品や電気自動車(EV)など様々な分野で普及が拡大しているリチウムイオン電池(以下、LIB)のリサイクル事業を推進しています。

### LIBの需要動向

LIBにはコバルトやリチウムなど多くの希少な金属が使用されており、今後、EVの普及拡大などにより使用済みLIBの発生が増加することから、各金属をリサイクルすることの重要性が増してきています。実際に、EUではLIBのリサイクルが義務化される流れであり、国内においても、今後の使用済みLIB発生増加に向けて、リサイクル体制の確立が求められています。

また、EVなどに搭載される車載用LIBや再生可能エネルギーの蓄電などに活用される定置用LIBについては、いずれも需要の増加や蓄電容量の大容量化が進むことから、今後は大型の使用済みLIBの発生が増加する見通しです。



エコシステム秋田(株)

### 大型LIBリサイクルの課題とDOWAの強み

大型LIBをリサイクルするためには、電池パックを放電した後に解体する必要があります。しかし、電池パックの解体作業には感電や発火のリスクが伴います。そのためDOWAグループでは、既存の大型熱処理設備を用いて、大型LIBの電池パックを解体せずにそのまま熱処理を行うことにより、感電・発火リスクを抑え、より安全なリサイクルを行っています。

DOWAグループでは現在、国内の2工場(秋田・岡山)においてLIBリサイクルを行っています。また、海外拠点においても国内と同様の設備を保有しており、将来的には海外への展開も視野に入れていきます。



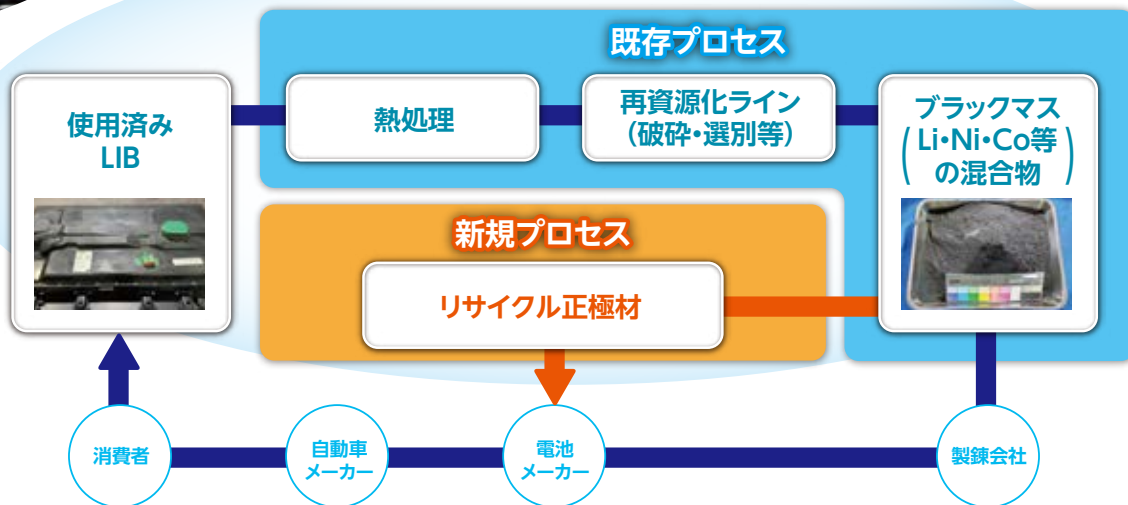


## さらなる技術開発

DOWAグループは、より高効率なリサイクルを実現するため、熱処理技術を活かした金属回収効率の向上や、大学や研究機関との共同研究に取り組んでいます。秋田大学と共同で開発した、使用済みLIBから正極材を製造する新規プロセス(下図)は、製錬会社による処理を経ずに「ブラックマス」(リチウム・ニッケル・コバルト等の混合物)を原料として正極材を製造するため、よりエネルギー消費の少ないリサイクルが可能となります。

DOWAグループでは、既存プロセスと合わせて2種類のリサイクルプロセスを持つことで、大型LIBをはじめ、発生の増加が見込まれる使用済みLIBのリサイクル需要にこたえていきます。

### 使用済みLIBがリサイクルされる流れ

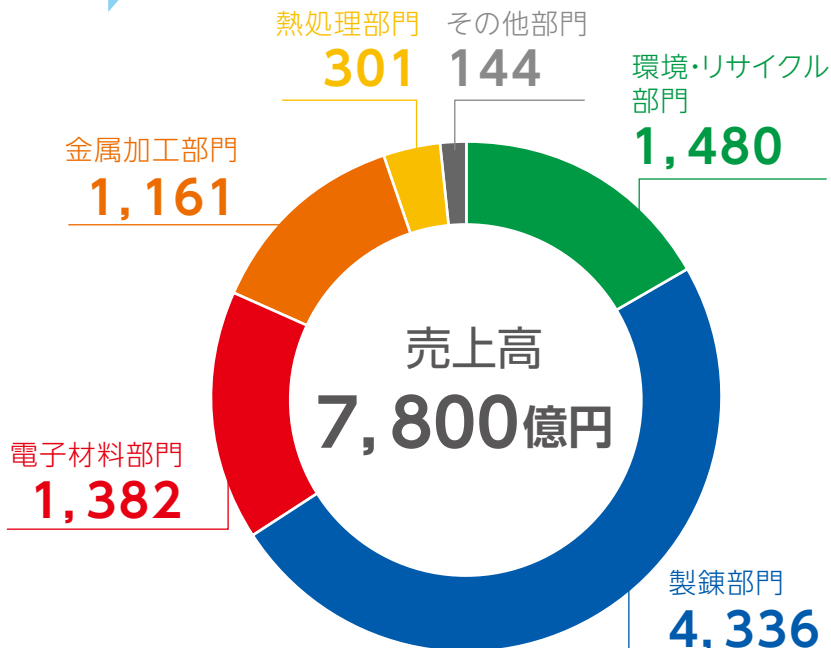


DOWAグループは、これまでに培った技術やインフラを有効に活用し、安全なリサイクルとリサイクル需要への幅広い対応により、資源循環型社会の構築に貢献し続けます。

## 2022年度の部門別の営業状況

部門別連結  
売上高構成  
(2022年度)

※各部門の売上高には、連結調整による  
消去分1,006億円を含んでおります。



## 環境・リサイクル部門

廃棄物処理事業では焼却の処理量は前期を下回りましたが、処理単価は堅調に推移しました。また、溶融・再資源化の処理量は堅調に推移しました。土壌浄化事業では土壌浄化の受注が堅調に推移しました。リサイクル事業では当社製錬所向けのリサイクル原料の集荷量は増加し、家電リサイクルや自動車リサイクルの処理量は減少しました。東南アジア事業では廃棄物処理の受注が前期並みとなりました。一方で、世界的なエネルギー価格の高騰や資材価格の上昇を受け、燃料費や副資材費等のコストが増加しました。また、営業外損益では外貨建取引に伴う為替差益を計上しました。

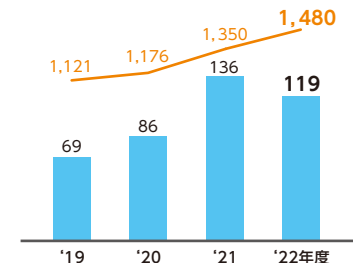


リサイクル原料

2022年度

売上高 **1,480** 億円 (前期比+9.6%)経常利益 **119** 億円 (前期比△12.2%)

売上高 (億円) 経常利益 (億円)



## 製錬部門

貴金属銅事業では銅の生産量は増加し、金及びすずの生産量は減少しました。PGM事業では第2四半期において、豪雨に伴い一時的に操業を調整した影響等により、使用済み自動車排ガス浄化触媒からの金属回収量が減少しました。亜鉛事業では亜鉛の生産量は前期並みとなりましたが、電力代等のエネルギーコストは大幅に増加しており、亜鉛の棚卸資産の簿価切下額による損失幅も拡大しました。一方で、製錬部門は、銅、銀及びPGMの平均価格は前期比で下落しましたが、平均為替レートが大幅な円安ドル高となったことが業績に寄与しました。また、営業外損益では海外亜鉛鉱山の運営会社において持分法投資利益を計上しました。

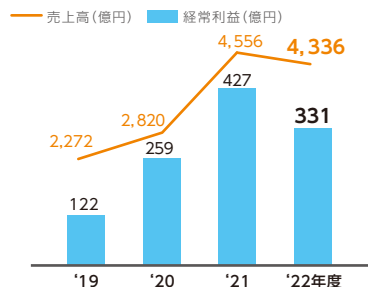


亜鉛電解工場

2022年度

売上高 **4,336** 億円 (前期比△4.8%)

経常利益 **331** 億円 (前期比△22.6%)



## 電子材料部門

半導体事業ではウェアラブル機器向けの近赤外LED及び受光素子(PD)の販売が増加しました。電子材料事業では太陽光パネルの汎用化が進んだことによる競争環境の変化により、太陽光パネル向け銀粉の販売が低調に推移しました。また、積層セラミックコンデンサ(MLCC)向け導電性アトマイズ粉の販売は、中国経済の停滞により減少しました。一方で、半導体事業と電子材料事業では、平均為替レートが前期比で大幅に円安ドル高となったことが業績に寄与しました。機能材料事業では磁性粉の販売が低調に推移しました。また、営業外損益では外貨建取引に伴う為替差益を計上するとともにサンプル収入が増加しました。

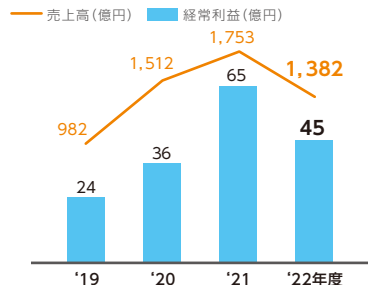


近赤外LEDチップ

2022年度

売上高 **1,382** 億円 (前期比△21.2%)

経常利益 **45** 億円 (前期比△30.6%)



## 2022年度の部門別の営業状況

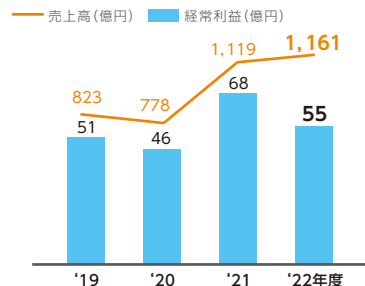
## 金属加工部門

伸銅品事業では世界的な半導体不足の影響が続き、自動車の生産が低調であったことから、自動車向け製品の販売が前期を下回りました。また、情報通信関連製品の販売は中国経済の停滞により減少しました。めっき事業では自動車向けの需要が減少しました。回路基板事業では産業向けの販売が堅調に推移しました。これらに加え、金属加工部門では電力代や燃料費等のコストが増加しました。



回路基板

2022年度

売上高 **1,161** 億円 (前期比+3.8%)経常利益 **55** 億円 (前期比△19.1%)

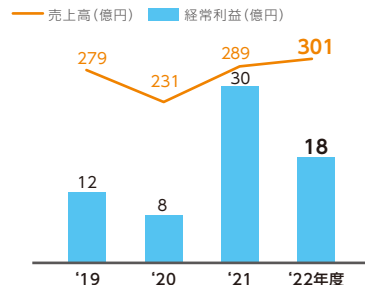
## 熱処理部門

熱処理事業では国内の自動車生産が低調であった影響を受けたものの、海外において受注が拡大しました。一方で、電力代や燃料費等のコストが大幅に増加しました。工業炉事業では新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少していた国内外の設備販売及びメンテナンスの需要が回復しました。



PT. DOWA THERMOTECH INDONESIA

2022年度

売上高 **301** 億円 (前期比+3.9%)経常利益 **18** 億円 (前期比△37.0%)



## ■ 秋田ノーザンハピネッツと連携し、使用済み小型家電のリサイクルを推進

DOWAグループは、男子プロバスケットボールリーグであるB.LEAGUE(Bリーグ)に所属する秋田ノーザンハピネッツと連携し、秋田県内の試合会場に使用済み小型家電を回収するボックス等を配置し、リサイクルを推進する活動を2022年9月から開始しました。なお、回収した小型家電は、DOWAグループの工場で金・銀・銅などの金属資源へとリサイクルされ、新たな製品の原材料として使用されます。

本活動は、DOWAグループが大会スポンサーとなったプレシーズンゲーム「第10回TOHOKU CUP 2022」(2022年9月16日、18日、19日開催)から開始し、2022年10月～2023年5月のレギュラーシーズンの期間中、秋田ノーザンハピネッツのホームゲーム会場内で実施しました。その結果、携帯電話などの使用済み小型家電を合計で70kg以上回収しました。

秋田ノーザンハピネッツとDOWAグループは、本活動を通じて使用済み小型家電回収の機会が新たに広がり、皆さまにとって小型家電のリサイクルがより身近なものになるとともに、SDGsや循環経済などの考えがより深く浸透するきっかけとなることを期待しています。



秋田ノーザンハピネッツのマスコットキャラクターのピッキー(左)とラーナちゃん(右)



DOWAグループは、2010年より秋田ノーザンハピネッツのオフィシャルパートナーを務めるなど、スポーツを通じた地域貢献活動に取り組んでいます。

取締役・監査役



代表取締役会長  
山田 政雄



代表取締役社長  
関口 明



取締役  
品質保証・環境・安全 担当  
飛田 実



取締役  
技術・事業開発・知財 担当  
菅原 章



取締役  
人事部長 総務・法務 担当  
片桐 敦



取締役  
経営企画部長 経理・財務担当  
細野 浩之



社外取締役  
小泉 淑子



社外取締役  
佐藤 公生



社外取締役  
柴山 敦



監査役(常勤)  
木下 博



監査役(常勤)  
福澤 元



監査役(非常勤)  
大庭 浩一郎



監査役(非常勤)  
小室 真吾

執行役員



執行役員  
DOWAエコシステム(株)  
代表取締役社長  
矢内 康晴



執行役員  
DOWAメタルマイン(株)  
代表取締役社長  
須山 俊明



執行役員  
DOWAエレクトロニクス(株)  
代表取締役社長  
鈴木 健彦



執行役員  
DOWAメタルテック(株)  
代表取締役社長  
鬼王 孝志



執行役員  
DOWAサーモテック(株)  
代表取締役社長  
山田 潔



執行役員  
DOWAテクノロジー(株)  
代表取締役社長  
猪股 寛成



執行役員  
DOWAマネジメントサービス(株)  
代表取締役社長  
若林 英一

## 会社概要・株式の状況

(2023年3月31日現在)

## 会社概要

創業	1884年9月18日
設立	1937年3月11日
資本金	364億37百万円
DOWAグループの社員数	約7,500人
主な事業内容	環境・リサイクル事業 製錬事業 電子材料事業 金属加工事業 熱処理事業

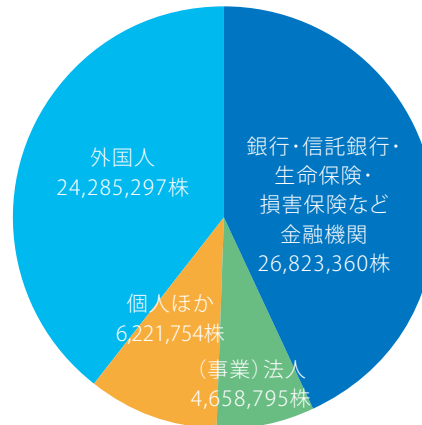
## 株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済み株式の総数	61,989,206株
株主数	10,160名

## 主要子会社

DOWA エコシステム(株)	環境・リサイクル事業会社
DOWA メタルマイン(株)	製錬事業会社
DOWA エレクトロニクス(株)	電子材料事業会社
DOWA メタルテック(株)	金属加工事業会社
DOWA サーモテック(株)	熱処理事業会社
DOWA テクノロジー(株)	技術サポート会社
DOWA マネジメントサービス(株)	事務サポート会社

## 所有者別株式分布状況



## 大株主

	持分比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17.03%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10.52%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	8.71%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	4.24%
藤田観光株式会社	3.12%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	2.96%
全国共済農業協同組合連合会	2.89%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	2.08%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1.91%
株式会社みずほ銀行	1.60%

当社は自己株式1,871千株を保有しており、持分比率については、自己株式を控除しています。

## 株主メモ

---

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
基 準 日	3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告した日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
公 告 方 法	電子公告 ( <a href="https://www.dowa.co.jp/">https://www.dowa.co.jp/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

### 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

### ( 郵便物送付先 )

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

### ( 電話照会先 )

0120-782-031 (フリーダイヤル)

### ( ホームページアドレス )

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

### ( 株式に関する手続き よくあるご質問 )

[https://faq-agency.smtb.jp/?site\\_domain=personal](https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal)  
QRコードからもアクセスいただけます。



## DOWAホールディングス株式会社

〒101-0021

東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX22階

電話番号 03-6847-1100

ホームページアドレス <https://www.dowa.co.jp/>

表紙撮影場所：DOWAサーモエンジニアリング(株) 浜松北工場

